



株式会社ヒロハマ 社内報

<経営理念>

- 一、缶パーツとその関連技術を通じて、缶の社会貢献を全面的に支援しよう
- 一、一人一人の持つすべての能力を、共にベストの形で花開かせよう
- 一、現場で現物を見て現実を把握し、原理原則にのっとなって対処しよう
- 一、お客様と我々自身に還元するために、一切のムリ・ムダ・ムラを無くして最大の利益を追求しよう
- 一、国内外を問わず、自らの可能性を追求し、仕事を通じて社会に貢献しよう

7月迄業績	計画	実績	差異	%	昨年比	%	12月迄成り行き	昨年度実績
売上	233,690	226,536	-7,162	96.9%	748	100.3%	399,937万円	393,179万円
営業利益	8,444	8,773	329	103.9	-3,544	71.2	10,684(2.67%)	17,956(4.57%)

<お盆明けも暑さ厳しいなか感染対策継続に感謝/売上はやや低迷>

8月も夏季休暇を過ぎ、少しづつ暑さもやわらいできました。しかし35度以上の猛暑日予報で「熱中症警戒アラート」が発表されることもまだ有るようです。この環境下のなかでマスクなどの感染予防に努めてもらい心苦しいですが、くれぐれも自身の体調を第一に体調変化にはご注意くださいと思います。

さて、先月7月の業績ですがメインの「缶パーツ」の動きがトーンダウンし、売上が伸び悩みました。新型コロナ第7波の急拡大と時期が重なっており、その影響も考えられます。そんな中で皆さんによるコストダウンや稼働率改善の取組みなどで「固定費」が676万円単月で抑えられており、826万円の営業利益確保に繋がっています。材料が値上がった分の当社販売価格の改定(値上げ)も東西営業メンバーの奮闘で進捗しており、当社がマイナスをかぶる期間を最小限に努めています。

【全社品質目標の達成状況】

安全第一 労災事故0件：千葉にて122日間、大阪にて852日間、労災事故ゼロ継続中。

品質クレーム:全社年間22件以内の目標に対し、累計で17件発生

当月3件:千葉社外1件(累計14件)、大阪社外2件(累計3件)

納期遅れ：なし

コストダウン：7月計画437万円 ⇒ 実績400万円(91%)

新規品売上：7月計画997万円 ⇒ 実績689万円(69%)

<東西にて永年勤続表彰が実施されました>

8月10日に当社の永年勤続の功績をたたえ、12名の方々へ表彰させて頂きました。現代の風潮を考えますと、一つの職場にこれだけ長く勤務頂くことが、いかに稀有(けう)なことであるか、大変なことであるかを感じます。ご本人のご努力、又ご家族のかたがたの、ご理解、ご協力が大きかったことと思います。今後とも、健康には十分にご留意いただき、ご活躍を期待いたしております。

7月単月 (単位:万円)	売上		営業利益		営業利益累計	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
東京営業所	22,152	21,160	513	743	3,786	4,755
千葉工場	20,713	18,725	640	128	4,145	3,893
大阪営業所	13,166	11,976	116	249	382	1,129
大阪工場	10,367	9,926	-1	-293	131	-1,003
全社	35,318	33,136	1,268	826	8,444	8,773

- 勤続35年 上岡正昭(大阪工場技術課)
 - 勤続25年 櫻井直子(千葉工場生産管理課)
 - 勤続20年 澤田将史(千葉工場技術課)、藤岡真一(千葉工場製造課)、木下強志(大阪工場製造課)
 - 勤続15年 長田ひさ子(大阪管理課)、永井健一(大阪営業所)、桐生正和(千葉工場製造課)、渡名喜則和(千葉工場製造課)、川越雅司(大阪工場技術課)
 - 勤続10年 佐原緑(千葉工場製造課)、神房和哉(千葉工場製造課)
- 以上敬称略

まことに、おめでとうございます。

<各事業所にて新型コロナによる影響が大きくなっています>

新型コロナによる影響(感染や濃厚接触者などによる欠員)が各事業所にて発生しています。まずは感染された皆さん、ご家族の体調の一日も早い回復を祈っております。そして抜けた部分を相互フォローでやりくりしてくれている現場の皆さんにも改めて感謝申し上げます。感染予防には各自が注意するしか有りません。自分自身もいつ罹患してもおかしくないと考えています。できるだけ人ごみの中に行かない、マスク着用、3密回避、など引き続きご協力お願いいたします。

8/23 廣瀨 庄一郎

<人を生かす経営>(1)

毎月、社内報にいろいろな切り口で記述してきましたが、今月からは私たちがめざしている究極の経営の姿を、皆さんと共に確認しておきたいと思えます。題して「人を生かす経営」。私自身が深くかかわっている中小企業家同友会でも、最も大切にしている概念です。

これまでに取り組んできているヒロハマの経営スタイルにも、当然のことながら「人を生かす経営」をめざす中で構築してきたことが多くありますので、その意義・目的についても明確に記しておきたいと考えています。

大きな切り口としては、(1) 独立自尊 (2) 相互尊重 (3) 力量発揮 となります。

【1】独立自尊

(1)志を立てよう

自ら変わる力がある

人間だけが日常的に直立二足歩行をしています。

それゆえに、手は使えるし、脳が発達して重くなった頭を支えることができるし、その他にも様々な要因がプラスされて、現在の人間としての発達につながったとされています。

しかし、ヒトは元々サルから進化したと言われていいますから、当初は四足で歩いていたはず。では、なぜ二足歩行になったのでしょうか? 様々な理由をいろんな人が述べていますが、自分としては次の答えが一番好きです。

それは、有名な教育学者である大田堯先生が、子供たちとのやり取りの中で共に導き出した答え。「人間はその気になった」というものです。

考えてみたら、人間だけが現在のよう文化文明を築いてきている。それは、先祖の一人ひとりが、「その気になって」未来の姿を描き、進歩向上をめざしてきたからに他なりません。そして、それが出来るのが私たち人間なのです。

私たちには、「その気」になることで、自ら変わる力が備わっています。まずは、そのことに強い確信を持ちましょう。

8/23 廣瀨 泰久